



端午の節句



端午の節句は5月5日にあたり、“菖蒲の節句”とも言われています。

強い香気で厄を払う菖蒲やヨモギを軒（のき）につるし、
菖蒲湯に入ること無病息災を願いました。



また、菖蒲を“尚武（武道を重んじる）”という言葉にかけて、
勇ましい飾りをして男の子の誕生と成長を祝う“尚武の節句”でもあります。

中国には、流れの激しい滝をのぼりきった鯉が龍となり、
天に登ったという伝説があります。また、鯉は生命力の強い魚とされ、
“どんな環境でも立派に成長するように”という願いを込めて
鯉のぼりを飾るようになったと言われています。

